



147

中学生向け

年組

(2023年2月3日付・下野新聞3面)

あす宇都宮で2イベント

郷土料理「しもつかれ」の魅力と可能性を次世代につなぐと、「探る」と「繋ぐ」をそれぞれキーワードにした二つの「しもつかれ博」が4日、宇都宮市インターパーク6丁目のミナテラスとちぎで同時開催される。いずれも初開催で、しもつかれの調理の

もつかれは本県などで初午の日に作られる行事食。イベントに掲げる「千年フード」は、しもつかれの起源が一説によれば平安時代までさかのぼることなどから名付けられた。「探る」は県教委が主催する。文化庁の「食文化ストリー」創出・発信モデル事

業の一環として開催。県は2021年度と22年度に同事業の補助金を受け、しもつかれの国無形民俗文化財登録を

分からの第2部は、しもつかれの可能性を探究する料理研究家ら4人が語り合う。調理実演や試食会も行う。

一方、同時開催の「繋ぐ」は、栃木市の市民グループ「しもつかれブランド会議」が主催。飲食ブースに10店以上が

しもつかれ次世代へ

特色や歴史、可能性を語り合うパネルディスカッションに加え、新たなアレンジ料理の販売やアート作品の展示、ライブを行う。



表の場でもある。

午後0時半からの第1部では、県立博物館の篠崎茂雄人文課長ら専門家5人が登壇し、しもつかれの調理の特色や歴史などに迫る。同2時10

本県を代表する郷土料理「しもつかれ」(県教委提供)

特色や歴史、可能性語る 飲食店がアレンジ料理

開催日は今年の初午の日の前日。県教委の担当者はしもつかれをテーマとしたイベントでは「世界初の規模」と強調し、「しもつかれが今後、千年先にも伝わる食文化になれば」と話した。両イベントとも午前10時から午後3時半まで。(斎藤愛)

設問

【1】本文中で使われている次の漢字の読み方を答えましょう。

①掲げる ②起源 ③登壇 ④迫る ⑤(工夫を)凝らす

【2】「初午の日」の午とは、十二支の一つです。十二支は暦や方角などを表すのに用いられます。十二支の漢字を読み、それぞれあてはまる動物は何か、答えてみましょう。

十二支… 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

【3】今年の初午の日は何月何日だったのでしょうか？(この記事は2月3日に掲載された記事です)

【4】この記事から分かる情報として正しいものに

は○を、間違っているものには×を書きましょう。

- ・ア イベントの「千年フード」とは、しもつかれが今後、千年先にも伝わる食文化になるようにとの願いを込めて名付けられた。
- ・イ 二つのイベントは栃木県教育委員会が主催しており、どちらのイベントも今回が初開催となる。
- ・ウ 「探る」のイベントは、しもつかれの国無形民俗文化財登録を目的として、文化庁の支援を受けて進められてきた事業の一環だ。
- ・エ しもつかれは栃木県を代表する郷土料理で、調理の特色や長い歴史を持ち、さまざまなバリエーションも開発されている。
- ・オ 「繋ぐ」のイベントでは音楽イベントが企画されている。また、たくさんの飲食店が出店される予定になっており、しもつかれ料理以外にも、どら焼きやカレーなどが味わえる。
- ・カ 今回のイベントは、しもつかれの魅力を伝えるイベントとして過去最大のスケールで開かれる。